

# 令和元（2019）年度 AIIT修了生コミュニティ 設置団体一覧

## ■ サイバーセキュリティ技術の開発と普及

昨今サイバー攻撃が頻繁に発生し、組織の対策も必要であるが、対策スキルを身につけることは難しい。現在瀬戸PBLでは、その関係技術を開発しており、PBLとの連携も模索しつつ、開発技術の修得および教育システムの高等教育機関への普及を検討する研究会を設置する。

瀬戸 洋一 教授 情報アーキテクチャ専攻 修了生4名

## ■ 水辺地域におけるマルチモーダルモビリティ デザイン

2018年度、海老澤PBLにて研究・デザインを行った、同テーマにおいて、継続的な研究活動と研究論文の執筆を行うことを目的とする。

1. 都市部臨海地域における「WATER ROAD」の活用研究
2. 2018年度PBL活動についての研究論文の執筆

村越 英樹 教授、海老澤 伸樹 特任教授 創造技術専攻 修了生3名

## ■ 良いモノの創り方の実務に即した概念定義

Aiitで学んだ人工物に関する基礎理論を実務への展開を考え、良いモノづくりとは何か？そのような活動が必要か？①良いモノ創りの概念をまとめる、②①の構成要素の理解を深める、③各構成要素の関係性を検討し「良いモノの創り方」に有効な考え方の方向性を模索してゆく。その中で実務に必要な視点を挙げ、ケーススタディとして取り組む。実務に必要な視点を出すために外部との連携を実施、④実務展開の手段としてプレゼン資料にまとめる 以上の学修成果を同様の課題を持つ作り手に発信し、ものづくりの現場で役立ててもらうことを最終ゴールとする。

吉田 敏 教授 創造技術専攻 修了生2名

## ■ 混雑予測システムを活用した新規交通システムの開発とコンテストへの応募

在学中に開発した混雑予測システム eyekonの分析データおよび、最近提供が始まった地理情報を活用し、より実用的なサービスを開発すること目的とする。また開発したシステムをコンテストに応募を当面の目標とする。

柴田 淳司 助教 情報アーキテクチャ専攻 修了生3名

## ■ 自律移動ロボット技術の開発と実装

近年、掃除機などの既存機能に、自ら考え移動する自律移動技術を融合する商品開発が急成長している。在学中に行った研究を継続して行い、①屋外を自律移動するロボット技術の開発と実装 ②「つくばチャレンジ」に参加しロボットの屋外実験検証 ③成果をまとめて技術を公開する。以上の自律移動ロボット技術の開発実装と、研究成果の情報提供を行う。

大久保 友幸 助教 創造技術専攻 修了生2名